

一時	一九五八年十一月一日	自午前十時三十分
一場所	宜野灣村議會々議室	至午後四時三十分
一會期	三日(十三日)	
一日程	日程第一 議事席第一九号	
出席議員	氏名	議席
一番	仲村春正	八番
二番	岸本利寅	九番
三番	坪佐眞一	十番
四番	佐喜眞換祐	仲本云重
五番	中山勝豊	花城清善
六番	安全良朝	十七番
七番	崎健一郎	天久盛雄
十二番	中里幸助	山本朝徳
一、議決の要旨	議事席十九名、欠席一名で市町村自治議事五十三条により議会は成立致しました。	議事席十九名
議長	出席議員十九名、欠席一名で市町村自治議事五十三条により議会は成立致しました。	議事席十九名
取扱い	(午前十時三十分)	

議
キ

直に會議を開きます。

)

日程十一議事オ一九午後並査委員の選任同意

の件附議改します。

番外一番

審議に移る前に本委キドソレ、お預け牛しナ

たりと有ります。

本キキはさきに選任の同意を得たく提案

致しましたが、その後議會議員の中から選任

同意を得たキ牛里幸助君が選任を詳退改

じました。アーベル議長を撤回いたします。

行承認願ひます。

番外一番

片車人よりの詳退文書を朗読

二番

唯今片車人がくの詳退文中選舉演説

十三番

云々の部分だけは認められぬ。

七番

中里君を選任するならば、村長自身村政

運営ド井岸に支障を来たすことになり

今まアリなれ合の政治が続くなともなり

かやない。

十番

別に感情アリカレバ、ばつてもなく、村長の

徹田に対する喜びとするモリアリ

こうサツフツニシテ、がラス張りの村政が

実現するものと思ひ、徹田に対する同意を

表したりもアリマス。

三番

唯今之徹田理由を勘案すると各人の主觀り
みに立つてあり、村長として提案されたに当り
承諾するもひとしてやつたと思つが、構成すれば

三番

考る反対があつたから、どう云ふ事は

三番

監木立委員として道格ではかつたと云ふ事に

三番

村長の御用に同意するもつまう。

三番

私は取締役者と思つたが、これが出来た

三番

のは私より足りなかつたと思ひ、本人に対する

三番

も皆さんに付して申し分けないと想つ

三番

多くの方々の同意が得られたが、事は私自身

三番

盡感に因つてあります。

二番

始めは本人の手派だけで徹田するかと思つた

二番

が、詰め村長の持つ手に目が足らなかつたので

二番

の車をせきりて、ニセダレほんとの民主主義である。

二番

と思つて、此の次に選任される方は充分と皆の
尊むが尊い處あるものと思つ。結果的には大變

プラスドロップだと感つた。

三番

唯今之村長の立意を尊重す重じて、次に提案下

三番

口きる場合は、他の立意を見直し、改めて進めて行き

三番

たが、尚ほ村長自身、併自身も自信をもつて

三番

進めて戴きて、この點は、必ずしも問題

十七番

私は盡感に因つてもう一つお話し

三番 何時も謝りをも必要はなしむしろ林長は
最適な送任者を求めていたと思つた
村長と云うシテ陽をあきれて忽びかだきて
忽くマツの御用だと云つた
通會に對するナリは、七人に対するべき
であるが、
四番、三番、十三番よりの意見が
が遺憾であるへりとある
伊里議員の送任同意につづア賛成したが
二、三名の議員より一送任を當時を挙げ
として側近者云々と云ふことは少くな
本人も適任でないからやめると言つた意味
で日本、今後、運営に支障があるから
と云つた意味がさうだと云ひうるが、今後は
問題本件として戻された方はそれなりにあ
議長 徹底にフリーフの意見はこの辺で終
一七番 案成できります
議長 一時休憩 (午前十時五十四分)
再開 (午前十時五十九分)
議長 議案一九号の徹底の承認可否について
討論を打切り、本決了に移ります
徹底承認にフリーフ投票議りません

更議なし」と呼ぶ事あります。

議長では猪俣議長より、アドバイスがあり、改します。

議長升一九早には撤回承認することを決定します。

議長日程十二議案第三十号を議題と改します。

三番予算審議につきましては議員の重大会議室に移ります。

通正力の方活で補助金交付は行なわる

ばなしと感じられます。現在村におきまし

せ何たる部面に如何なる方活で補助金を

交付してあるか、如何なる規定になつてある

どうか、説明願ひます。

澤山(經濟)課長補助金等の交付規定は特に経済部面の

合意するが、その補助金の額は市町村に

おおむね、完全農村でもなく、又商工都市で

もおおむね、どつちの面が重要な点かと

言います。一部面が平均して、重要な点も

経費が相当必要で、政府の補助する額も

望まざつけるが、あまるだけ、村で出来

範囲は並めて行なうと想

次に農業耕地面積が、重大で特に荒廃地

解消せば何に補助金を出しても数年たて
同じ形に荒れてしまつ

その原因は農業では食えないと云ふのが
大きな原因であり政府としても新しい施策
が必要だと思う

今後も農商工も同じく雇用で振兴を計る
意請で進めたが、外にもあるからどうぞ
補助金の方向はわかつたが今後の説明は度
半周保の叶と思うが、外にもあるからどうぞ
その他には想定はござりません

十番 村長 体協としては校区からの負担金も見る
まが体協予算に入つてないが如何

体協としては八年頃に不足し、各校区に
ありては各部落が單位と見ており、二、三、四
五年では校区からの令和金によつて済んで
じきあつた。最近は村作協の申請によつて
単位と審議して未端に存くと云はり
部落ごとに現状は校区別々負担する
一七番 それも関連して申上げ下さい 校区連絡会
すみれは各部落が自ら地でやつてあるので
行生の近文書う7名。区すり宿牧毛子

四
九

一九番

いま一枚と補助金も何とか考慮頼みたが
大臣の体協り役員としてお預りする

予算

大山校との場合は三ヶ月前から冬郊落り
予算に入つてある。つづき各校でも予算

計上して戴けば、結局だとと思う

二五番

予算書の支出しの中の産業奨励費の中づ
商工奨励費とはドル交換所につけてと思うが

経済課

や何で何でどう方で何で何で今後は度
ドル交換所に關するかづかぬ

二六番

各款項目によつし、づの追加があるが、如何
如何

助役

各款項目によつし、づの追加があるのはB円
対ドルの法清の関係上、一一〇円対一〇

二七番

前回の予算の端数の金じるが、政府等が
も事切はして莫つとう指名があり

二八番

端数整理の意味から、追加計上した
当初予算の額自体變更出来るか、どう

二九番

とあるのは、村長として新しい施策にはア
變更がナリ得ると思ふ場合、もし予算を
可能なら、おもは次の場合は廿千の施策

助役

があると思ふが、如何

十三番

達族会も参考人として出席させること

國吉連合會
村連族会り収況につけてお説明申し上げます
一元會の
団体で死せる報の会と併行して設立された
あるに持て今度がう婦人部活動費を
計上致しましたが始めのモリで赤夫人
盡見り職業補導の会計が力不足で
半年三日牛で猪苗法が時刻にかかる事
婦人部の活動が牛心となろと思われた
村も中央の方針に相まつて職業補導も
アツて行きたい
現在B円で一戸一五円の会費を徴收し
ありますか中央への負担金の分しかなり
こゆたび補助金の交付方お願ひ申し上げる
至大でせりやま。

十三番会員は中央では何かあつてあるが
國吉連合は徒改で軍人取扱に、使用者の海洋死者
の軍人扱い等の日本政府への活動費等
につかれてある。現在も車站向長が
波日牛で平流牛のモリと早急完結と
未確認者の確認促進等の面を追めて
ある。

三番
村連族会は市町村自治法第一六二条の規定より

十三番

必く分額の検討の上取扱料奉等にモフアリ

十三番

本追加便予予算は成入も充分可能として

十三番

の計上でナリ、補助金廻係は別個に感え

十三番

べきモウてあると思フ

十三番

本年にナリテは原安市通り替成致したい

十三番

用各校との青年会等は予算が少く運営

十三番

に非常に困難を蒙だしてある

十三番

青年会は下部の充実を計ること大約

十三番

至太ドロ部に造りて身が入ると思フ

十三番

本ニアノリで各員の協力を得フ何と不

十三番

況度シナハ

議 卡

村青年会に対するは運営に対し補助し易

一七番

上提案に対するは全面的に賛成である

議 卡

討論を打切ります。

議 卡

表决に移ります。

議 卡

本年ドリテ原案通り可決を走る事

議 卡

各異議ございません

議 卡

要満石」と呼ぶものナリ

議 卡

では各異議がナリおいてナリます。

議 卡

議事ナニト一年（一九五九年度）沙村歳入歳出

追加更正予算案を原案通り可決を

議長

致します。(西)

ニれて全日程終了いたしました。感謝の意を表す
本会期中慎重に審議して戴きました
大変感謝申し上げます。一日程全部終了
したりて第六回立野沢村議会臨時会を開會
致します。

(午后四時三十三分)

右會議録は書記が記載したものを、7月3日が事実
に相違ないことを認め署名人と共に署名捺印
する。

一九五八年／＼月／＼日

立野沢村議会議長

議事録署名人 岸 本 利 実

議事録署名人

（印）